

市民との協働

ワークショップから見たもの



2011.11.23
シンポジウム



2011.11.23
サテライトオフィス



2011.12.10
第1回ワークショップ
【計画条件について理解する】



2012.02.18
第2回ワークショップ
【駅前広場の市民利用について考える1】



2012.04.14
第3回ワークショップ
【駅前広場の市民利用について考える2】

ステップ2 資料

- 第4・5回ワークショップ予定
【市民利用機能を盛り込んだ計画案を考える】
- 第6回ワークショップ予定
【市民主体の駅前広場の運営を考える】
- 0番線で実現できそうな事
0番線もしくは他で実現できそうな事
重点エリアを含む広域で実現可能性を探る事

集まる・憩う・交流する・つなぐ・滞留する

- ・いこいの広場、若い人が集まる場
- ・お茶をする場、おしゃれなカフェ、ガーデンカフェ
- ・フリーマーケット、イベントスペース
- ・展示ホール
- ・2000人収容のコンサートホール
- ・多目的ホール、300人収容の多目的ホール
- ・会議、ミーティングができるスペース、成果が展示できる場所
- ・電車の待ち時間に利用できる場所
- ・世代間をつなぐ場所
- ・溜まる場所、憩える空間
- ・七夕祭りの場、新しいお祭りをつくりたい
- ・駅利用者でない人も楽しめる空間
- ・屋根付きの大きな広場
- ・ひと休みするベンチ、タバコ吸う場所
- ・

自然・エコロジー・防災

- ・省エネルギー、Eco、自然エネルギーの利用
- ・災害対応型の駅
- ・自然と人工が上手く融合された場所、緑豊かな空間
- ・街路樹は広葉樹を植えてもらいたい
- ・あらゆる活動の拠点となるような森
- ・自然素材（県産木材など）を使った空間
- ・水辺のある憩いの広場
- ・木の種か記念樹を幼稚園児に植樹させるイベント

情報・観光・文化

- ・山口のすべてがわかる観光案内所
- ・物産館
- ・地元商品、県内ブランドのショップ、ミュージアムショップ
- ・インフォメーションの充実
- ・文化施設のインフォメーション（YCAMの公演展示紹介）
- ・情報、知識が得られる場所（図書館の出先）
- ・情報センターを設置し、山口の観光拠点にする
- ・駅近の商店の情報、ロコミ
- ・駅に行けば山口市の最新のことがわかる
- ・外郎体験、体験型の場所
- ・テレビ局、ラジオ局のサテライトスタジオ、情報発信が出来る場
- ・山口県7地域の観光情報をローテーションで
- ・交通弱者のための鉄道を生かす工夫
- ・小郡の駅にコミュニティバス等の公共交通を充実させる
- ・駅前の大正通 明治通はぐっとレトロに、駅前広場はハイカラに
- ・
- ・

鉄道関係

- ・SL、転車台を観光資源に
- ・鉄道の展示スペース・ギャラリー、鉄道模型展示、SL記念館
- ・SLと新幹線の融合
- ・駅まるごと博物館
- ・表口より小郡口のほうが良い
- ・

くらし・市民活動

- ・子育てサポートセンター
- ・様々な教室や活動が行えるスタジオ（ガラス張り）
- ・地域の人々の活動が見える場所（お花、陶芸、ダンス、ワークショップ、まちづくり活動など）
- ・地域の人が発表出来る場所、展示するスペース
- ・コミュニティスペース
駅のまわりの人、駅を利用する人（通勤や通学）、NPO
- ・コンビニ、ドラッグストア、地元食材の販売
- ・駐車場の充実
- ・
- ・商店街の活性化
- ・小郡の駅にコミュニティバス等の公共交通を充実させる
- ・駐輪場、バイク置場の充実
- ・

その他

- ・アクティブエイジングの基地（健康に老いるまち）
- ・老人施設、子育て施設
- ・医療センター
- ・「健康」テーマの施設
- ・Aゾーンに何を作るかが大切。常に人が集まる施設を…
- ・大きな施設（マンガ館、アニメ館）
- ・都銀、都銀ATM
- ・ロッククライミング
- ・複合施設、シネコン等、大きなデパート
- ・

まちと駅をつなぐ「0番線」を考える -新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップ-

Plants Associates Inc.

新山口駅表口広場 整備方針

ワークショップから「0番線」駅前広場へ

これまでのワークショップを通じて見えてきたものを、表口広場の設計の中でどのように具現化していくかをまとめました。駅前広場での実現が難しいと思われるものについても、市と協議を続けていきます。

- 0番線で実現できそうなこと
企画・運営に対するアイデアや責任が伴えば実現できそうなこと

集まる・憩う・交流する・つなぐ・滞留する

→グランドプラザ(1&2F)／オープンプラザ

※ 立体的な広場を利用して、様々な形で集う場所を整備します

- ・いこいの広場、若い人が集まる場
- ・お茶をする場、おしゃれなカフェ、ガーデンカフェ
- ・フリーマーケット、イベントスペース
- ・会議、ミーティングができるスペース、成果が展示できる場所
- ・電車の待ち時間に利用できる場所
- ・世代間をつなぐ場所
- ・溜まる場所、憩える空間
- ・七夕祭りの場、新しいお祭りをつくりたい
- ・駅利用者でない人も楽しめる空間
- ・屋根付きの大きな広場
- ・ひと休みするベンチ、タバコを吸う場所、授乳室

自然・エコロジー・防災

→広場全体で検討

※ あり方を探りながら、新しい駅前広場の実現を目指します

- ・省エネルギー、Eco、自然エネルギーの利用
- ・災害対応型の駅、誰でもトイレ
- ・自然と人工が上手く融合された場所、緑豊かな空間
- ・街路樹は広葉樹を植えてもらいたい
- ・あらゆる活動の拠点となるような森
- ・自然素材（県産木材など）を使った空間
- ・水辺のある憩いの広場
- ・木の種か記念樹を幼稚園児に植樹させるイベント

情報・観光・文化

→スペース(A～H)

※ 場所是用意するべく進めていますが、何よりも、企画・運営をどうするかというソフト面が充実することが必要です

- ・山口のすべてがわかる観光案内所
- ・物産館
- ・地元商品、県内ブランドのショップ、ミュージアムショップ
- ・インフォメーションの充実
- ・文化施設のインフォメーション（YCAMの公演展示紹介）
- ・情報、知識が得られる場所 →図書館の出先
- ・情報センターを設置し、山口の観光拠点にする
- ・駅近の商店の情報、ロコミ
- ・駅に行けば山口市の最新のことがわかる
- ・外郎体験、体験型の場所
- ・テレビ局、ラジオ局のサテライトスタジオ、情報発信が出来る場
- ・山口県7地域の観光情報をローテーションで
- ・交通弱者のための鉄道を生かす工夫
- ・小郡の駅にコミュニティバス等の公共交通を充実させる
- ・駅前の大正通明治通はぐっとレトロに、駅前広場はハイカラに

鉄道関係

→鉄道ギャラリーなど

※ 線路(1番ホーム)に面する場所を鉄道ギャラリーとして整備します。また、上記スペース(A～G)の利用も可能です。

- ・SLを観光資源に
- ・鉄道の展示スペース、ギャラリー
- ・駅まるごと博物館

くらし・市民活動

→スペース(A～H)、広場

※ この活動についても、「誰が使うのか」というソフト面を検討することが必要です。

- ・地域の人々の活動が見える場所（お花、陶芸、ダンス、ワークショップ、まちづくり活動など）
- ・地域の人が発表出来る場所、展示するスペース
- ・コミュニティスペース
駅のまわりの人、駅を利用する人（通勤や通学）、NPO
- ・コンビニ、ドラッグストア、地元食材の販売
- ※下記については、駅前広場内だけで解決できる問題ではありませんが、設計者からも積極的に市に対して働きかけを行います。
- ・駐車場の充実
- ・商店街の活性化
- ・小郡の駅にコミュニティバス等の公共交通を充実させる
- ・駐輪場、バイク置場の充実

その他

- ・老人施設、子育て施設
- ・Aゾーンに何を作るかが大切。常に人が集まる施設を…
- ・都銀、都銀ATM

まちと駅をつなぐ「0番線」を考える -新山口駅表口広場づくりを考える市民ワークショップ-

Plants Associates Inc.